

教育委員会だより

「自主」と「共生」～自己肯定感

令和元年 5月 28日号 多治見市教育委員会 教育総務課

精華小・苗栗市児童書画交流会



4月25日(木)、駅北庁舎1階ギャラリースペースで、「多治見・台湾苗栗児童書画合同展示会」の開会式が行われました。本年度は、精華小学校の児童が、本市を代表して、書写と図画の作品を展示しました。

精華小学校を代表して、6年生の松田凌空さん、酒向莉世さんがテープカットに参加し、多治見西ロータリークラブの齋藤会長から賞状と記念品を授与されました。

セレモニーの前後、二人は、見事な書写作品に、鮮やかな色使いの絵画作品に感嘆しながら見入っていました。「同じ小学生が書いたとはとても思えない(書写作品)」「(絵画の)色使いが独特できれい」それぞれのつぶやきは、異なる文化から謙虚に学ぶ姿勢であり、国際性の芽生えに他なりません。学びのよい機会をいただきました、多治見西ロータリークラブ、台湾苗栗ロータリークラブの皆様、心より厚くお礼申し上げます。

多治見市PTA連合会定期大会

5月18日(土)、とうしん学びの丘エールを会場に、令和元年度の多治見市PTA連合会定期大会が開催されました。オープニングアトラクションとして、土岐商業高等学校吹奏楽部の皆さんが笑顔で元気に見事な演奏を披露してくださいました。

冒頭、水野新会長は挨拶の中で次のように述べられました。

前向きで明るい親の姿を子ども達に見せていきたい。親同士がつながって、今のNHKの朝のドラマ「なつぞら」の主人公を育むあの村のような多治見にしよう。そんな夢が実現できるPTAでありたい。

笑顔で力強く語られる姿から、多治見市の子どもたちの成長を支える強い決意が伝わりました。

続いて、「子どもが作る弁当の日」の提唱者である竹下和男先生の講話を伺いました。

『8050』問題等、現代の社会問題についての具体的な解説には切迫感があり、我が身に置き換えてお話を伺うことができました。児童生徒が、献立を考え、自分で買い物をするところから調理について考え実践することが、多くの問題を解決し、一人ひとりの自立や幸福を強く支えることについて、ご自身の実践を中心にわかりやすく話してくださいました。

令和元年度 市内各小中学校で大切にされる言葉

小中学校では、学校の教育目標の実現のため、各校長がめざす姿や願いを具体的な言葉にして学校経営にあたっています。PTA総会等機会をとらえて発信されています。めざす子どもの姿、学校の姿、教職員の構えなど、表現や切り口は様々ですが、今年一年にかけると願いが込められています。

- 養正小：子どもたちの笑顔があふれ地域に愛される学校
- 精華小：えがおとやる気ある学校
- 共栄小：子ども職員も元気に登校、笑顔で下校 「ありがとう」がとびかう学校づくり
- 昭和小：健全な自尊感情(自己存在感・自己肯定感・自己効力感・自己有用感)
- 小泉小：自分で決められる子
- 池田小：元気に登校、笑顔で下校、心かよう池田小
- 市之倉小：聞きとる力
- 滝呂小：みんなちがって、みんないい
- 南姫小：じまんから自信へ
- 根本小：笑顔で登校(親身になる教師)・笑顔で下校(授業で育てる学校)
- 北栄小：誇りのもてる北栄小学校
- 脇之島小：えがおいっぱい ゆめいっぱい
- 笠原小：未来ある子ども達に確かな学力と生きる力を
- 陶都中：岐阜県一の学校 ～学校満足度90%～
- 多治見中：さわやか多中
- 平和中：地域社会人として行動し、進んで社会貢献する生徒の育成
- 小泉中：主体性と共感性を磨く
- 南ヶ丘中：一人ひとりが「学校が楽しい」と感じている学校づくり
- 北陵中：努力は自分を信じる力
- 南姫中：見通しのある学校・学級経営を行い、仲間と活動し自らに自信を持たせる指導

<6月の行事から>

- 15日(土) わがまち多治見大好き講座②
「わがまち多治見の現代陶芸に学ぶ」
- 22日(土)わたしの主張2019 多治見市大会
13:00 開式 パロー文化ホール小ホール
- 25日(火)市中学校特別支援学級スポーツ大会

<7月の行事から>

- 11日(木)多治見市学校保健会総会
- 14日(土)わがまち多治見大好き講座③
「美濃焼名人になろう2019」
- 20日(土)夏季休業日(8月26日(月)まで)
- 22日(月)市内通学路合同点検
- 25日(月)音楽クラブ発表会